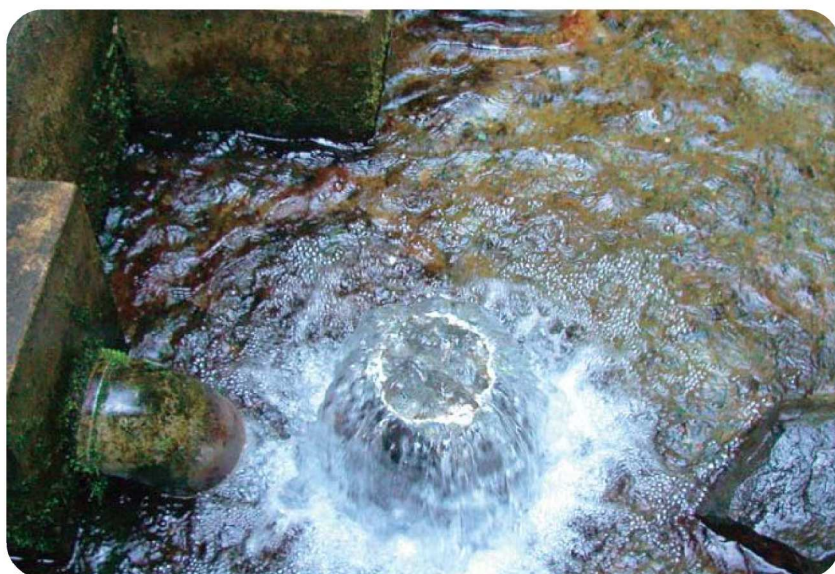




大津町の宝 水



豊かな湧出量を誇る諏訪水源（矢護川）

豊かな水と緑 大津町は地下水の宝庫

阿蘇の大地を源とする大津町の地下水は、熊本市圏一〇〇万人の命の水であり、農業・工業を支える無くてはならない水である。町は広葉樹を植え大事な水資源の涵養を図っている。今年度から発行する地域通貨は「水水」と命名された。

いろはにほへと

24

芋の煮えたもご存知ない

世間はなれのした人を、芋の煮えたのもご存知ないやつだという。しかし、ほめているのか、けなしているのかはつきりしない。昔は、そういう人では実際の役に立たないという意味で、けなした言葉に使われたのだろう。あまり現実にごだわっている人より、芋が煮えたもご存知ない脱世俗人のほうが奥ゆかしく見えてくる。

表紙の解説

樹木名 ベニエゴノキ
科名 エゴノキ科
属名 エゴノキ属

日本全国に分布する落葉高木で、高さ6〜7メートルで、株立ちになる樹形が好まれ、庭木によく利用されます。5〜6月ごろ、新緑の枝先に径約1・5cmのベニ色の花が開花する。秋には、丸形の小さな実が、多数たれ下がります。別名チシャノキとも言う。自然の山には白花を見かけます。（新開 則明）

編集後記

世界の阿蘇を背景に鮮やかな黄色い菜の花畑が広がっている。大津町では環境問題に取り組む各団体がこの菜の花栽培に挑戦してい

る。21世紀は「環境の世紀」と言われている。もうすぐ、地球温暖化を実感させられるあの猛暑の日々がやってくる。この菜の花栽培という小さな取り組みが、町民一人ひとりの心に環境保護の大切さを教

え、未来を担う子どもたちに伝えられたら素晴らしい。議会の一般質問でも、環境問題に関する内容が多く取り上げられるようになった。町も積極的に取り組む姿勢を示している。（月尾）

議会の様子を来て見て聞いてはいよ

今回は6月中旬予定です。

議会広報編集特別委員会

委員長 長俊彦
委員 荒木 長
委員長 ムツヨ
委員 鈴木 典光
委員 坂本 純朗
委員 月尾 則明
委員 新開 則明

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。